

きたない水(Ⅲ)の生物

採取できたら ☐ に
チェックを入れていこう!

ミズカマキリ



体長約40～50mm。池・沼・水田にすんでいます。体は棒状で、陸上のカマキリに似ていることから名付けられました。体長と同じくらいの呼吸管を尾に持っています。



前脚の先を折り曲げているところ



呼吸管

タイコウチ



ヤリのような口

体長約40mm。尾端の呼吸管は体長と同じくらいで、伸び縮みしません。泳ぐ時の前脚の動作が太鼓を打つのに似ていることから名付けられました。

ミズムシ



体長約10mm内外で、割合汚れた川や池にすんでいます。背腹が平らで、汚れたような灰褐色をしています。

成虫



幼虫



陸にいたダンゴムシに似て、体を丸めることができます。砂まじりの川底や石の間にいる。海水の少し混じった汽水域にすんでいます。

ニホンドロソコエビ



体は縦に平たく、ちぎれやすい。また、細長い触角があり、泥の多い川底にいます。海水の少し混じった汽水域にすんでいます。

大変きたない水(Ⅳ)の生物

採取できたら ☐ に
チェックを入れていこう!

アメリカザリガニ



体長約10cmエビガニとも呼ばれます。1930年6月にウシガエルのエサとして、アメリカから入ってきました。生活力が強く、池や川のようにすんでいます。

赤いユスリカ



成虫

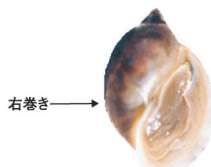
体長5mm内外で、体液中にヘモグロビンに似たエリスロクリンという呼吸色素を持っているため鮮紅色をしています。汚染のはげしい水にすんでいます。

チョウバエ



大きさは8mmくらいで、細長く、足はない。下水、排水溝などにすんでいます。尾に長い突起(呼吸管)があります。

モノアラガイのなかま



殻高約1cm。殻は薄く半透明です。蓋やえらがなく、外套膜(がいとうまく)を通して水面などに浮き、直接空気呼吸をします。右巻きです。

サカマキガイ



殻高約1cm。ヒメモノアラガイによく似ていますが、サカマキガイは左巻きです。汚濁水質の指標生物で、下水溝などにすんでいます。

イトミズのなかま



下水などの中に群生しています。頭部を泥に埋め、尾を水中で揺り動かし酸素を吸収します。金魚のエサなどに使われます。



比べてみましょう

右巻き

左巻き

タニシのなかま



昔から巻貝のことを「ニシ」とか「ニナ」と呼び、「タニシ」は「田の巻貝」という意味で名付けられました。田・池・小川などにすみ、泥底で生活します。農業の影響で数が減っています。乾燥に強く干上がったときも泥の中で越冬します。

ヒルのなかま



どちらも肉食で、昆虫の幼虫などを食べます。水底の石などに卵のうを産みつけます。シマイビルは背中にも2本の黒い縦線があります。

アブの幼虫



多くは吸血性で、成虫は、8～28mmで日本に約100種類います。幼虫は、川のように、水田などに生息します。

その他の生物①

採取できたら ☐ にチェックを入れていこう!

ウシガエル



トノサマガエル



体長約12cm。後ろあしから先に出てきます。多くは越冬して、翌年カエルになります。

イモリ



体長約10cm。尾が長く、体長の約半分を占めます。1年中水中で生活しますが、時には陸上の湿気の多いところにもやってきます。肉食性でどん欲に食べます。